

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	外出の頻度が少ない。	日常的に外出支援を行う。	利用者の希望に応じて苑庭や近所への散歩。桜や秋桜など見学の継続。定期的な苑庭での昼食の実施。地域行事への参加。	12ヶ月
2	25	利用者目線になっているかの再確認が必要。	利用者に生き生きとした表情や姿を持ってもらう。	利用者の思いや意向の把握に努める。利用者とのコミュニケーションをとる。思いが上手く伝えられない利用者については表情や動作で気を配る。家族から都度、生活歴や嗜好をお聞きする。	12ヶ月
3	2	地域との交流について、コロナ禍で活動が少なかった。	地域交流を図る。	コロナウイルスも5類になっており、今後、感染状況を見ながら、活動を取り入れていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。